

ユニシス研究会関西支部北陸地区支部会員の皆様へ

ユニシス研究会  
関西支部北陸地区支部事務局

## 2019年度 研究活動メンバー募集のご案内

拝啓 日頃よりユニシス研究会活動に対し、ご協力ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

ユニシス研究会では、会員の皆様が日常業務の中で抱えている課題やこれからの新しい情報技術、生産性向上、新たなデバイス等の活用などをテーマに、会員同士や日本ユニシスグループ社員との情報・意見交換の場、また相互研鑽の場として、今年度も研究活動を推進して参ります。

関西支部北陸地区支部では、会員企業のマネジメント層の方、およびリーダー・担当者クラスの方を対象にしたメンバー募集をさせていただきます。(詳細は募集要項ご参照)。

5月30日(木)の『関西支部北陸地区支部発足式』を皮切りに、来年3月6日(金)開催予定の『研究活動発表会』まで約10ヶ月間に亘って活動して頂きます。研究成果は、この発表会の場で発表して頂きますが、特に優れたグループには翌年度の全国カンファレンス(BITS)でも発表を行って頂く予定です。

また、更に優れたグループの中から当研究会で最も栄誉ある「エックート賞」候補としても推薦させていただきます。

ユニシス研究会活動の柱である「研究活動」は、企業の業種・業態の枠を越えた人材交流と育成の場として、また将来に向けたビジネスヒントを創出する機会としても、広くご活用を頂いております。

関西支部北陸地区支部研究活動にご参加を頂けます様、会員皆様からのお申し込みを心よりお待ち申し上げます。

敬具

(添付)

1. 『2019年度 関西支部北陸地区支部研究活動参加申込書』 (FAXまたはメール申込用)
2. 【別表】2019年度 北陸地区支部 テーマ別エントリー表

## 2019年度 関西支部北陸地区支部 研究活動 募集要項

### 1. 研究テーマ

北陸地区支部で募集する下記7つ(A~G)の中からお選び下さい。  
詳細は別紙「2019年度 北陸地区支部 研究テーマ別エントリ表」をご欄下さい。

#### 【A】 北陸における未来洞察

研究テーマ(案) 『未来洞察の試行とその効果について』

#### 【B】 ブロックチェーン

研究テーマ(案)

『ブロックチェーンっていったい何?どんなことに注意しなければならない?新たなビジネスモデルの探求』

#### 【C】 API エコノミー(経済圏)

研究テーマ(案) 『API 連携が生み出す新しい経済圏とは』

#### 【D】 資産可視化

研究テーマ(案) 『システム運用における既存資産の可視化』

#### 【E】 人工知能

研究テーマ(案) 『データ活用と人工知能を活用した社会課題を解決するサービス創出』

#### 【F】 クラウドを利用したデータの利活用

研究テーマ(案)

『クラウド技術を利用して、企業内・外に存在するデータを組み合わせて、新ビジネスについて考える』

(注釈)上記A~Fは、ユニシス研究会北陸地区支部事務局で定めた募集枠です。

#### 【G】 その他

A~F 以外で、皆様が希望する研究テーマがありましたら、別紙記入欄に詳細をご記入願います。

### 2. 参加資格

ユニシス研究会会員企業。(会員企業の方であればどなたでも参加いただけます。1企業から複数名の参加もお受けします。)

### 3. 参加費用

- (1) 研究活動への参加費として、参加人数に関わらず1会員あたり¥20,000を申し受けます。
- (2) 受付終了後、別途、『連絡責任者』様宛に上記金額をご請求させていただきます。尚、請求先が連絡責任者と異なる場合は、お申込みの際に連絡欄へご記入をお願いします。
- (3) 研究活動のための会場費、交通費、宿泊などの経費は参加者の負担とさせていただきます。

#### 4. お申し込み方法・お問い合わせについて

- (1) お申し込み方法:「参加申込書」にご記入のうえ、下記宛に FAX またはメールにてお申し込みください
- (2) お問い合わせ先: 日本ユニシス(株)北陸支店内 ユニシス研究会 北陸地区支部事務局  
担当者: 山内  
〒920-0869 金沢市上堤町 1-12 金沢南町ビル  
TEL: 076-233-9800 (平日 9:00~17:30) FAX: 076-233-9870  
メールアドレス: [uni-hokuriku@ml.unisys.co.jp](mailto:uni-hokuriku@ml.unisys.co.jp)

#### 5. 研究活動の運営について

- (1) 活動期間は、5/30(木)の「発足式兼第一回会合」を皮切りに、来年 3/6(金)「研究発表会」迄の約9ヶ月間です。また会合回数は、日中の通常業務時間内で調整していただく会合として 15 回~20 回程度を見込みます。
- (2) 研究活動は各グループに参加頂くメンバーの自主運営となります。運営支援として、日本ユニシスグループより選出したアドバイザーが活動をサポートします。
- (3) 会場は日本ユニシスの施設をご利用頂くか、参加メンバーの会社施設のご利用をお願いします。

#### 6. 申込締切

2019年5月22日(水)

#### 7. その他

活動成果(研究活動報告書、プレゼン資料等)の著作権は著者に帰属致しますが、著者は、ユニシス研究会が主幹する「機関誌など刊行物への掲載」や「WEB サイトへの掲載」など、研究活動成果配布に係わる一切の権利(個人名・会社名・所属先の公開を含む)を、ユニシス研究会に無償で許諾するものとさせていただきます。予めご了承願います。

## 【 2019年度年間スケジュール（概要） 】

・活動期間中の会合スケジュールは、各グループでお取り決めして頂きます。  
(グループにより差はありますが、目安として月1, 2回程度の会合を実施して頂きます。)

- 5/30(木) 14:00～ : 「関西支部北陸地区支部発足式兼第一回会合」 於)日本ユニシス北陸支店  
発足式の後は、第一回目の会合を実施します。  
第一回目の会合では、メンバーの自己紹介、研究テーマの方向性や今後の進め方等について討議を進めて頂きます。  
また終了後には、懇親会を開催予定です。詳細は応募受付後に、改めてご案内を申し上げます。
- 9/6(金)～7(土) : 「サマースクール」 於)静岡県三島 東レ総合研修センター  
グループのリーダー・サブリーダーを対象に参加頂き、中間報告を行って頂きます。  
サマースクールは活動途上での課題整理や、他グループとの交流を目的として開催しますが、それまでの中間報告を行ったうえで今後の方向性をしっかりと議論していただきます。  
\* サマースクール参加費用(施設までの交通費と宿泊・飲食)は、ユニシス研究会で負担させていただきます。
- 12月初旬(予定) : 「活動報告書レビュー」 於)日本ユニシス関西支社・北陸支店(TV会議等含む)  
当時点での活動状況をもとに、1月末に提出する活動報告書の内容について各グループのリーダー、サブリーダーの方から説明をして頂き、関西支部事務局内でレビューをします。
- 2020年1月末日: 「活動報告書」の提出期限  
提出を頂いた報告書は、構成力・表現力はもとより、汎用性・手法・独自性などを考慮して査読審査をさせていただきます。
- 1月下旬～2月初旬: 「関西支部北陸地区支部発表会」 於)別途決定のうえ、ご連絡致します  
全国発表会に備え、リハーサルを兼ねて関西支部北陸地区支部内で各グループの研究発表をさせていただきます。  
発表会終了後、懇親会を予定しております。
- 2月末日: 「発表用資料」の提出期限。  
所定フォーマット(ppt形式)に、プレゼンテーション時の発表用資料としてご提出いただきます。
- 3/6(金)予定: 「研究活動発表会」: 於)東京有明ワシントンホテル  
全国から全グループのリーダー・サブリーダーに集まって頂き、研究活動の成果を発表して頂きます。  
また発表会終了後、懇親会場にて受賞グループの発表と表彰式をあわせて実施します。

以上

『2019年度 関西支部北陸地区支部研究活動参加申込書』

■個人情報の取り扱いについて

ご記入いただくお客さまの個人情報は、当社(日本ユニシス株式会社)、並びに当社のグループ企業、及びユニシス研究会が 1)本セミナーに関する連絡・確認、2)当社および当社のグループ企業などからの製品・サービスに関する情報提供 3)イベント・セミナーなどのご案内および 4)マーケティングの目的で利用させていただきます。

ご記入いただいたお客さまの個人情報については、当社の「個人情報保護基本方針」に従い、厳正に取扱います。なお、個人情報の開示、訂正、削除、情報提供の停止などのお申し出、その他ご質問がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡いただけますか、当社ホームページからお申し出ください。また、当社グループ企業への個人情報の提供、共同利用と、各社の個人情報保護方針については、下記リンク先よりご覧ください。

- ・当社グループ企業等への個人情報の提供について <http://www.unisys.co.jp/com/privacy/o.group.html>
- ・日本ユニシスグループ企業 個人情報保護基本方針 <http://www.unisys.co.jp/privacy/group.html>
- ・ユニシス研究会 個人情報保護方針 <http://www.yuni-kengri.jp/privacy.html#1>
- ・当社ウェブサイト上における Cookie および Web ビーコン、アクセスログについて <http://www.unisys.co.jp/com/privacy/index.html>

【個人情報管理者】ユニシス研究会事務局 事務局長 中村 能也  
 【お問い合わせ先】ユニシス研究会北陸地区支部事務局 山内  
 〒920-0869 石川県金沢市上堤町1-12 金沢南町ビル3F E-mail: uni-hokuriku@ml.unisys.co.jp

同意して申し込む

■ご参加者 (※2名以上ご参加の場合は、本申込書をコピーの上、ご利用下さい。)

所在地	〒		
会員会社名			
TEL		FAX	
フリガナ 参加者名			性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
所属・役職			
Eメールアドレス			

■ 出欠(出席:○、欠席×)

発足会(14:00~)	
懇親会(17:45~)	

■ エントリー表Gの場合は、こちらに内容をご記入下さい。

■ エントリー表G以外の場合、A~Fを記入

■【自己紹介・担当業務】

■連絡欄(請求書の送付先の変更の場合はこちらにご記入下さい。)

変更: \_\_\_\_\_

**【別表】2019年度 北陸地区支部 研究テーマ別エントリー表**

募集枠	研究対象	研究テーマ（案）	活動内容（例）
A	北陸における 未来洞察	『未来洞察の試行とその効果について』	<p>新たな事業戦略や新規事業創出の手法として、予測の積み上げだけではなく非連続的な未来からの気づきを得て将来を見通す「未来洞察」が様々な企業で使われている。本活動では、未来洞察手法の学習と試行を行い、WS（ワークショップ）では仮想的な事業分野を定め、未来洞察手法を用いて機会領域や未来年表を作成し、中長期的な活動戦略の策定までを行う。この一連の作業を体験することにより、北陸の未来を見据える力を養うとともに「未来洞察」とはこういったものであるか理解する。</p>
B	ブロックチェーン	『ブロックチェーンっていったい何？ どんなことに注意しなければならない？ 新たなビジネスモデルの探求』	<p>近年のFinTechの潮流の中で、大きな話題となった「ブロックチェーン」。 そのユースケースは金融業界にとどまらず、あらゆる業界でブロックチェーンの価値が見出され、実証実験が行われ、まさに実サービスが始まろうとしている。 一部では、ブロックチェーンが何かを理解するフェーズは終わり、ブロックチェーンの価値をビジネスにつなげるフェーズに移ってきている状況において、その流れに追随するための研究活動を実施する意味は大きい。 本研究テーマでは、ブロックチェーンの基本的に立ち戻って理解するところから始め、どんなことに注意して活用すべきか、今後の展望、新たなビジネスモデル例から活用方法を探究する。 例えば、北海道ブランド（農産物、水産物）を保証できるようなトレーサビリティ業務への活用などを期待したい。</p>
C	APIエコノミー （経済圏）	『API連携が生み出す新しい経済圏とは』	<p>API(Application Programming Interface)を提供する人、APIを利用してサービスを提供する人、提供されたサービスを楽しむ人の3者間で出来る仕組みを「APIエコノミー」と言う。 今後のビジネス展開において、社内外リソースの活用やビジネスサイクルの高速化に対応する手段としてAPIの提供や活用は不可欠になってきている。「APIエコノミー」を創出するために、どのようにAPIを提供するか、APIをどのように活用するかを研究する。</p>
D	資産可視化	『システム運用における既存資産の可視化』	<p>企業の業務システムは長期に渡って利用されるが、ソースコードの肥大化、ソースコードとドキュメントの乖離、情報の属人化など、さまざまな原因から情報が劣化し保守が困難化することは免れない。 対策としては、既存の資産を見える化して現状の把握を容易にすることが考えられる。 本活動では、どのような情報を見える化することで、困難となっている保守作業を改善できるかの検討を行う。</p>
E	人工知能 (Artificial Intelligence)	『データ活用と人工知能を活用した 社会課題を解決するサービス創出』	<p>様々なものがデジタル化され、つながる時代のなか、データと人工知能を活用した、業務の生産性向上や省人化を始めとする、社会課題を解決するサービス創出について、調査・検証を通じて、次業務への適用や活用に向けた提言や実証を行う。</p>
F	クラウドを利用した データの利活用	『クラウド技術を利用して、企業内・外に 存在するデータを組み合わせ、 新ビジネスについて考える』	<p>内閣府が提唱するSociety5.0実現に向けて、PDS（Personal Data Store）、情報銀行、データ取引市場という新たなデータ流通の仕組み・データ利活用が活性化してきており、既存の企業内データ、オープンデータや新たに収集できるデータを組み合わせ活用することで、新ビジネスの創出や社会課題の解決などを、クラウドの有効な利用方法を模索しつつ検討する。</p>
G	その他	<p>上記A～F以外にご希望するテーマがございましたら、 申込書の所定欄に内容を詳細にご記入下さい。</p>	